

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	① 基礎学力の定着、専門教育の充実、共通教科と専門教科のバランスに配慮した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ② 学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的行動の促進を図る。	① 生徒の学習意欲の向上を目指して、教授方法を研究し、組織的な授業の改善を行う。 ② 学校行事や生徒会行事の充実を図る。	① 他校の取組を参考としたり全日制と定時制相互の公開授業を行うなど、授業改善のための研修を実施する。また、生徒の学習意欲の向上を目指し、学習サポート員等の利用を図る。 ② 学校行事や生徒会行事の事前指導を充実させるなど、各行事のねらいを明確にすることにより生徒が主体的に参画できるよう指導する。	① 生徒による授業評価において「授業中生徒同士で話し合う機会などがある」の項目において、「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」合せて、75%以上となったか。 ② 学校行事や生徒会行事に生徒が主体的に参画していたか。
2 生徒指導・支援	① 基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かな生活指導に取り組むとともに、個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を確立する。 ② 部活動の活性化を通して、生徒の達成感・連帯感・責任感を涵養する。	① 生徒の情報を職員全体で共有し、積極的に情報を交換することで、個に応じたきめ細かい生活指導・支援を行う。また、生徒に対する交通安全指導の充実を図る。 ② 「学校のいじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に取り組む。 ③ 「神奈川県立学校に係る部活動の方針」により、部活動の方針を策定し、教育課程と連携した部活動の活性化を図る。	① 職員間で生徒情報の共有を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーあるいは外部機関との組織的な連携を図ることにより、個に応じたきめ細かい生活指導・支援を行う。 ① 車両通学や日常における交通安全指導の充実に努める。 ① 定期的なアンケートを実施し組織的にいじめの認知に努め、その解消を図る。 ② 新たに策定する方針に従い年間指導計画を作成することで計画的な活動を行い、部活動の活性化に努める。	① スクールカウンセラー等を含めた全ての職員で生徒情報を共有する機会をこれまで以上に持つことができたか。 ① 車両通学に対する指導の充実を図ることができたか。また、日常における交通安全指導の機会の提供ができたか。 ① いじめの認知件数とそれらが解消できたか。 ② 年間を通して部活動に参加した生徒が増えたか。
3 進路指導・支援	① 生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導・支援の充実を図る。 ② これからの時代を生きて行く上で必要な資質・能力を育成するためのキャリア教育を推進する。	① 個々の生徒が卒業後の進路に対し、具体的なイメージが持てるよう指導する。 ② キャリア教育を推進するためのプログラムの充実を図る。	① LHRや面接等を通して、できるだけ早い段階から生徒が卒業後の進路について、具体的に考えることができるよう指導する。 ② キャリア教育のねらいを明確にし、講演会等を実施することで、生徒が主体性を持って将来を考えることができるよう努める。	① 個々の生徒の卒業後の進路希望を把握し、進路実現に向けた指導をすることができたか。 ② キャリア教育のねらいに沿った企画を実施することができたか。
4 地域等との協働	① 地域産業・地域社会との連携・協働による教育活動の充実に取り組む。 ② 地域や中学生に工業高校や定時制の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。	① 地域産業・地域社会、近隣の小中学校等との連携・協働に取り組む。 ② 定時制の特色や情報を広く発信するために魅力ある取組や活動を伝えられるよう広報活動を充実する。	① 文化祭に地域の方を招くなど地域と連携・協働した行事を実施するとともに、生徒の自己肯定感を育むため、地域の小中学校で行われる行事等に参加する取組の充実を図る。 ② リニューアルしたホームページを通じて、行事や生徒活動の様子、資格等の取得状況などを定期的に発信していく。 ② 様々な機会をとらえて、各種広報活動の充実を図る	① 地域の方や近隣の小中学校等との連携・協働した取組を充実させることができたか。 ② ホームページをこまめに更新し、その内容を充実することができたか。また、定時制の広報活動の充実を図ることができたか。
5 学校管理 学校運営	① 生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備、防災体制の整備に取り組む。 ② 研修による意識啓発、業務の共有・協働・効率化を進め不祥事を未然に防止する。	① 防災訓練や防災講演会等を実施し、防災体制の整備を進めるとともに防災意識の向上に努める。 ② 職員間の意識共有、啓発に努めることにより、不祥事の未然防止を図る。	① 夜間防災訓練や講演会等を実施し、夜間に生徒を安全に避難させる体制を整えとともに、新たに「避難所初動体制マニュアル」を作成し、保護者、自治体との協力体制を整備する。 ② 職員の課題意識の共有化を図るため、個々の職員の企画を生かした研修等を実施する。また、日頃から同僚性の醸成に努めることにより、効果的な事故不祥事防止研修を実施し、職員の意識を高める。	① 生徒の防災意識の向上を図ることができたか。また、地域・保護者との協力体制を整備することができたか。 ② 同僚性の醸成に努め、効果的な事故不祥事防止研修を毎月実施することができたか。